

胆振東部地震被災森林復旧指針（案）の一部修正

頁	新	旧	内容
1	<p>I 指針策定の考え方</p> <p>1 指針の趣旨 (略)</p> <p>令和元年度から植林等に関する<u>森林造成実証試験</u>（以下「<u>実証試験</u>」という。）をしてき ました。</p> <p>2 指針の位置付け (略)</p> <p><u>実証試験</u>の成果等を踏まえ、具体的な方向性を示すものです（図1）。</p>	<p>I 指針策定の考え方</p> <p>1 指針の趣旨 (略)</p> <p>令和元年度から植林等に関する実証試験をしてきました。</p> <p>2 指針の位置付け (略)</p> <p>森林造成実証試験の成果等を踏まえ、具体的な方向性を示すものです（図1）。</p>	文言統一
2	<p>II 被災森林の概要</p> <p>1 被災森林の現状 (略)</p> <p>道総研・林業試験場において令和元年度から3カ年の計画で<u>実証試験</u>を実施しているほか</p>	<p>II 被災森林の概要</p> <p>1 被災森林の現状 (略)</p> <p>道総研・林業試験場において令和元年度から3カ年の計画で大規模崩壊地森林造成実証試験を実施しているほか</p>	文言統一
6	<p>III 森林造成実証試験の成果（中間報告）</p> <p>1 土壌評価及び土壌評価の簡易判定手法 (2) 植生基盤の簡易判定 (略)</p> <p>「土壌硬度」には、<u>剣先スコップ</u>による掘削の<u>難易度</u>、「透水性」は、<u>粘土化した火山灰土の有無</u>を把握する方法を検討しています。</p>	<p>III 森林造成実証試験の成果（中間報告）</p> <p>1 土壌評価及び土壌評価の簡易判定手法 (2) 植生基盤の簡易判定 (略)</p> <p>「土壌硬度」には、<u>剣先スコップ</u>による掘削、「透水性」は、<u>土壌中の軽石の含有率</u>を把握する方法を検討しています。</p>	表現変更

7	<p>2 植生試験の状況 (2) 実播試験の状況 (略) 実播Bでは草本類や木本類の発芽はほとんど見られない。</p>	<p>2 植生試験の状況 (2) 実播試験の状況 (略) 実播Bでは草本類や木本類の発芽は見られない。</p>	<p>文言修正</p>
14	<p>V 森林復旧の進め方 2 森林復旧事業の考え方 (1) 復旧手法 (略) 林業関係団体で構成する北海道林業用種苗供給連絡会議と連携し</p>	<p>V 森林復旧の進め方 2 森林復旧事業の考え方 (1) 復旧手法 (略) 林業関係団体で構成する北海道林業用種苗供給調整協議会と連携し</p>	<p>H30.12 から名称変更</p>
15	<p>3 森林所有者への支援 (略) 提案に当たっては、レーザ航測の成果や土壌条 件に関する簡易調査の結果などを説明し、森林 の境界や成林までの将来像を明らかにします。 <u>また、森林経営計画の作成の支援をはじめ、</u> <u>森林整備事業や豊かな森づくり推進事業の重点</u> <u>的な活用による所有者負担の軽減、木材関連企</u> <u>業や発電事業者等と連携した被害木の有効活用</u> <u>に取り組みほか、国に対し森林復旧にかかる制</u> <u>度の拡充を働きかけます。今後、地域の要望を</u> <u>踏まえ、より効果的な対策を検討し、実施計画</u> <u>に盛り込むなど、所有者の森林経営に対する不</u> <u>安の解消や経営意欲の喚起に努めます。</u></p>	<p>3 森林所有者への支援 (略) 提案に当たっては、レーザ航測の成果や土壌 条件に関する簡易調査の結果などを説明し、 森林の境界や成林までの将来像を明らかにす るなど、森林経営に対する不安の解消や経営 意欲の喚起に努めます。</p>	<p>具体的な支援内容を追加</p>
16	<p>4 実施計画の作成方法 図11. 実施計画書のイメージ 実施計画集計表</p>	<p>4 実施計画の作成方法 図11. 実施計画書のイメージ 実行計画集計表</p>	<p>文言統一</p>